

# 第7次岩美町総合計画

くみんなのでつくるふるさと岩美く

時代の息吹を感じ

勇気をもって

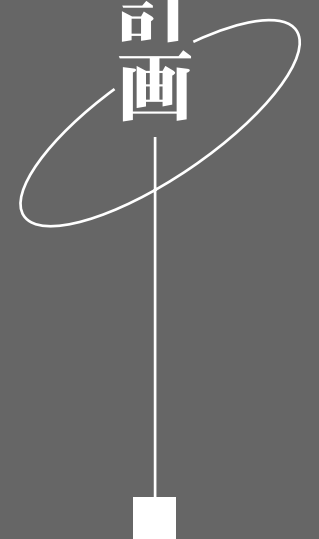
挑戦するまち

# 岩美



# 岩石美

## 第7次岩美町総合計画



## ごあいさつ



豊かな自然に恵まれ、先人によって築かれた本町の歴史は文化・伝統とともに今日まで脈々と受け継がれてきました。

21世紀を迎えた今日、長期にわたる景気低迷・少子高齢化による人口減少が大きな問題となり、IT革命を始めとする高度情報化、国際化、価値観の多様化など諸情勢は目まぐるしく変化しています。

また、地方分権・市町村合併の動きが高まる中、一層の地方の主体性、自主性が求められています。

このような状況の中、第6次総合計画の成果と新たな課題を踏まえ、21世紀に大きく飛躍し、町民が自らまちづくりに参加し自信と誇りを持ち、「幸せ」を実感できる地域社会を創造するため、長期的視点に立ったまちづくり計画として「第7次総合計画」を策定しました。

その目標を「時代の息吹を感じ勇気をもって挑戦するまち岩美」と位置づけ、時代を先取りし、個性をもって町民一人ひとりが生き生きと輝いて暮らしていけるまちづくりを進めるため全力で施策に取り組んでいく所存でございますので、町民の皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後に、策定にあたりまして大変ご熱心に審議をいただきました総合計画審議会委員の皆様をはじめ、まちづくり委員会に参加していただきました皆様、町民アンケートにご協力いただきました方々に、あらためて感謝申し上げます。

平成14年3月

岩美町長 榎本 武利

# 第7次岩美町総合計画

## 目 次

### 基 本 構 想

第1章 基本方針.....	2
1 計画策定の趣旨.....	2
2 まちづくりを取り巻く価値観の変化（時代の潮流）.....	2
（1）協働のまちづくりの時代へ.....	2
（2）地方分権時代の対応.....	2
（3）少子高齢社会への対応（人口減少社会へ）.....	3
（4）IT型社会を始めとする高度情報化社会への対応.....	3
（5）自然との共生に向けた循環型社会への対応.....	3
（6）人権の世紀.....	3
（7）行財政改革と説明責任.....	3
3 鳥取県及び広域の動向.....	4
4 計画の性格と役割.....	4
5 計画の構成と目標年次.....	4
（1）基本構想.....	4
（2）基本計画.....	4
（3）実施計画.....	4
第2章 町の現状.....	5
1 定住人口の減少.....	5
2 少子化・高齢化の進行.....	6
3 交流人口の減少.....	6
4 アンケートによる町民の声.....	7
（1）アンケートでの不満度について.....	7
【医療・健康・福祉】.....	7
【地域の教育・文化について】.....	8
【地域の生活環境について】.....	9
【地域の産業について】.....	10
【まちづくり・行財政について】.....	11
【日常生活での活動範囲について】.....	12
（2）アンケートからみた優先して取り組むべき分野.....	13
第3章 人口フレームの設定.....	14

第4章	まちの将来像	15
第5章	まちづくりの基本目標	17
(1)	町民がともに創るまちづくり	17
	住民参画の推進	17
	開かれた行政の推進	17
	効率的な行財政運営	17
	広域連携の推進	17
	交流の促進	17
(2)	安心して健やかに暮らせるまちづくり	18
	地域福祉の推進	18
	高齢者福祉の充実	18
	児童福祉の充実	18
	障害者福祉の充実	18
	保健・医療の充実	18
	社会保険・生活保護の充実	18
	消防・防災対策の充実	18
	交通安全対策の強化	18
(3)	楽しく学び文化にふれあうまちづくり	19
	学校教育の充実	19
	生涯学習の充実	19
	生涯スポーツ活動の推進	19
	芸術・文化の振興	19
	男女共同参画の推進	19
	人権尊重意識の高揚	19
(4)	活力あふれるたくましいまちづくり	20
	農業の振興	20
	林業の振興	20
	漁業の振興	20
	商工業の振興	20
	観光の振興	20
(5)	魅力ある快適なまちづくり	21
	道路・交通網の整備	21
	公共交通機関の充実	21
	情報通信基盤の充実	21
	上下水道の整備	21
	定住対策の充実	21
	河川の整備	21
	公園等の整備	21

廃棄物処理対策とリサイクルの推進.....	22
環境保全対策の充実.....	22
美しい景観の整備.....	22
土地の有効利用.....	22
<b>第6章 重点プロジェクト.....</b>	<b>23</b>
1 定住促進プロジェクト.....	23
2 子育て支援プロジェクト.....	24

## 基 本 計 画

町民がともに創るまちづくり.....	28
住民参画の推進.....	28
開かれた行政の推進.....	30
効率的な行財政運営.....	31
広域連携の推進.....	33
交流の促進.....	34
安心して健やかに暮らせるまちづくり.....	36
地域福祉の推進.....	36
高齢者福祉の充実.....	38
児童福祉の充実.....	40
障害者福祉の充実.....	42
保健・医療の充実.....	45
社会保険・生活保護の充実.....	48
消防・防災対策の充実.....	50
交通安全対策の強化.....	52
楽しく学び文化にふれあうまちづくり.....	54
学校教育の充実.....	54
生涯学習の充実.....	56
生涯スポーツ活動の推進.....	58
芸術・文化の振興.....	59
男女共同参画の推進.....	61
人権尊重意識の高揚.....	62
活力あふれるたくましいまちづくり.....	63
農業の振興.....	63
林業の振興.....	67
漁業の振興.....	68
商工業の振興.....	70

観光の振興.....	71
魅力ある快適なまちづくり.....	73
道路・交通網の整備.....	73
公共交通機関の充実.....	76
情報通信基盤の充実.....	78
上下水道の整備.....	80
定住対策の充実.....	83
河川の整備.....	85
公園等の整備.....	86
廃棄物処理対策とリサイクルの推進.....	87
環境保全対策の充実.....	88
美しい景観の整備.....	90
土地の有効利用.....	91

## 資

## 料

総合計画策定の経緯.....	93
岩美町総合計画審議会委員名簿.....	94



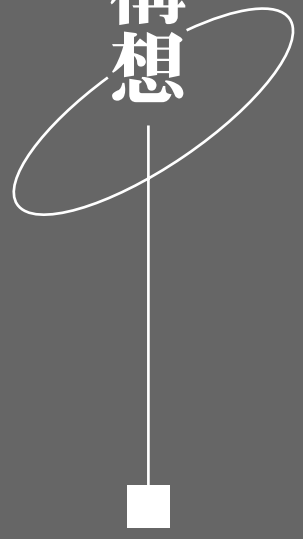


# 岩美

I W A M I  
G E N E R A L I Z E  
P L A N

第7次岩美町  
総合計画

## 基本構想



## 第1章

# 基本方針

## 1 計画策定の趣旨

岩美町では、町政の総合的、基本的な指針として昭和46年に第1次総合計画を策定して以来、経済・社会情勢等時代の変化に対応し、6次にわたる総合計画の策定により、魅力ある町づくりを推進してきましたが、現行計画の基本計画期間が平成13年度をもって終了します。

この間、町民並びに関係機関の理解と協力により、生活環境の整備、産業生産基盤の整備など町民生活の向上と地域社会の発展が図られ、一定の成果を収めております。

第6次総合計画では「～走る、跳ぶ、躍る、生命輝くまち岩美～タウン・バイオニクスのみちづくり宣言」を理念として健康で躍動感のあるまちづくりを目指してきました。

しかしながら、21世紀を迎えた今日、長期にわたる景気低迷・少子高齢化による人口減少が大きな問題となり、IT革命を始めとする高度情報化、国際化、価値観の多様化など諸情勢は目まぐるしく変化し、情報の公開など新たな行政需要に迫られています。また、地方分権・町村合併の動きが高まる中、一層の地方の主体性、自主性が求められています。

このような状況を踏まえ、21世紀に大きく飛躍し、町民が自らまちづくりに参加し自信と誇りを持ち、「幸せ」を実感できる地域社会を創造するため、長期的視点に立ったまちづくり計画として「第7次総合計画」を策定し、各般の施策を積極的に展開するものであります。

## 2 まちづくりを取り巻く価値観の変化（時代の潮流）

### （1）協働のまちづくりの時代へ

地方分権の時代に入り、国と地方との役割が明確になり、自治体の責任が厳しさを増してきており、自らの選択と責任のもとにいっそうの行財政の効率化に努め主体的にまちづくりに取り組むことが重要であります。

行政と住民が一体となり「情報の共有」をし、「協働」してまちづくりを進めることが求められています。

### （2）地方分権時代の対応

地方分権一括法が平成12年4月1日より施行され、今までのような県は国に、市町村は県に依存し、住民も行政に依存しがちであった実態の中で、公共サービスを主として行政が担ってきたスタイルを改め、これからは、住民も地方自治体も自立性を高めるとともに、力を合わせて活力ある社会を築いていくことが求められています。

このような中、これらの諸問題に対応するため行政的財政的な強化を図るため市町村の広域合併の検討などが全国的に進められています。

### (3) 少子高齢社会への対応（人口減少社会へ）

21世紀に入り、我が国は本格的な少子高齢社会を迎えます。

人口減少社会に転じ、2025年には65歳以上の人口の割合は、27.4%に達し、生産年齢人口（15歳～64歳）は60%に低下すると予想されます。

このような中、子どもを生き育て易い環境を整えるとともに、弱者に優しい社会を造るため、バリアフリー社会を実現していくことが求められています。

### (4) IT型社会を始めとする高度情報化社会への対応

近年、IT（情報通信技術）の進展はめざましく、取り巻く環境がIT社会に向けて大きく変化しつつあり、これにより、いながらにして全国の情報の共有を可能にしています。このような中、ITを利用した行政サービスの整備を進めていくことが重要であり、これにより生じるであろう住民間の情報格差の対策を講じる必要が求められています。

### (5) 自然との共生に向けた循環型社会への対応

ライフスタイルが大量生産、大量消費、大量廃棄により地球温暖化に大きな影響を及ぼしています。

また、限りある資源を有効に利用することが今後の課題となってきます。

そのためにも省エネルギー、リサイクル、ゴミの減量化、分別の徹底、グリーン購入に努めなければなりません。

### (6) 人権の世紀

少子高齢化の時代の到来により、あらゆる人たちの社会への参画の場が広がっています。全ての人がお互いを認め合い暮らしやすい時代に対応した社会づくりへの対応が求められています。

### (7) 行財政改革と説明責任

地方分権が進む中、地方公共団体の独創性と経営手腕が求められています。

そのため、効率的にまちづくりを進めるためには、いっそうの行財政改革を進めていかなければなりません。

また、住民と共に歩んでいくためには、できる限りの情報を提供し説明しながら理解を得ていくことが求められています。

### 3 鳥取県及び広域の動向

鳥取県21世紀ビジョン、とっとりIT戦略プログラム、鳥取県福祉のまちづくり条例、市町村合併への取り組み、鳥取県東部ふるさと市町村圏計画及び広域プロジェクトなどを視野に入れる必要があります。

### 4 計画の性格と役割

この計画は、21世紀において長期的な展望にたって、岩美町のまちづくりの基本的方向及び方策を明らかにするものであり、具体的には次のような役割を担うものです。

- (1) 町においては、町行政の総合的かつ基本的な指針となります。
- (2) 町民においては、地域づくりに対する役割、参画方法等を明らかにし、自主的、積極的な活動の手がかりとなるものです。
- (3) 国・県等に対しては、本町が推進を期待する施策の概要を明らかにするものです。

なお、本町を取り巻く諸情勢は激しく変化しており、予測しがたい点も多く、計画実施に当たっては基本構想の範囲内で弾力的に運用するものとします。

### 5 計画の構成と目標年次

#### (1) 基本構想

基本構想は、平成23年を目標として、まちづくりの基本理念と21世紀初頭の岩美町の将来像を示し、その実現のための行政及び住民の取り組むべき基本方針を明らかにするものです。

#### (2) 基本計画

基本計画は、平成14年度から平成18年度までの5年間の中期計画とし、基本構想を具体化するための必要な施策について、事業内容を体系的に明らかにするものです。

#### (3) 実施計画

実施計画は、基本計画に示された施策を現実の行財政の中において実施するための3カ年の短期計画とし、ローリング方式により年次ごとに定め、個々の具体的な施策・事業について、その規模、経費等を明らかにするものです。

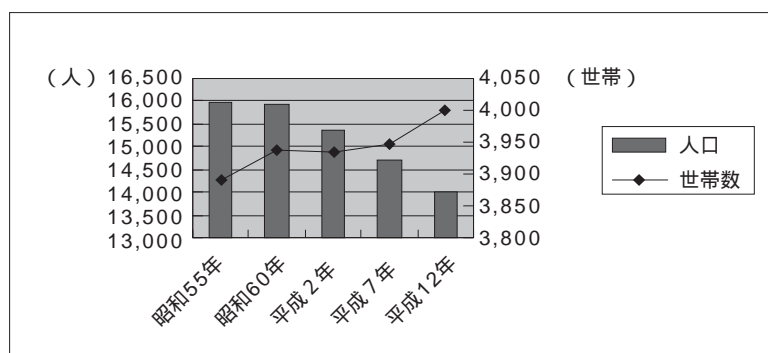
## 第2章

## 町の現状

## 1 定住人口の減少

昭和30年に20,460人の人口から平成7年には14,713人に、平成12年には14,015人（国勢調査）と減少傾向に歯止めがかかっていません。

世帯数は昭和55年に3,892世帯で平成7年には3,946世帯、平成12年は4,001世帯と増加傾向にあり核家族化が進行しています。



(国勢調査)

また、地区別では下表のとおり大岩地区を除いて全ての地区で減少しています。

特に網代地区、田後地区の漁村部の人口減少が大きく、次に蒲生地区など山間部の人口減少が続いています。その中で山間部の集落の中には集落維持が困難になっている集落も見受けられます。

## 各地区人口及び世帯数の推移

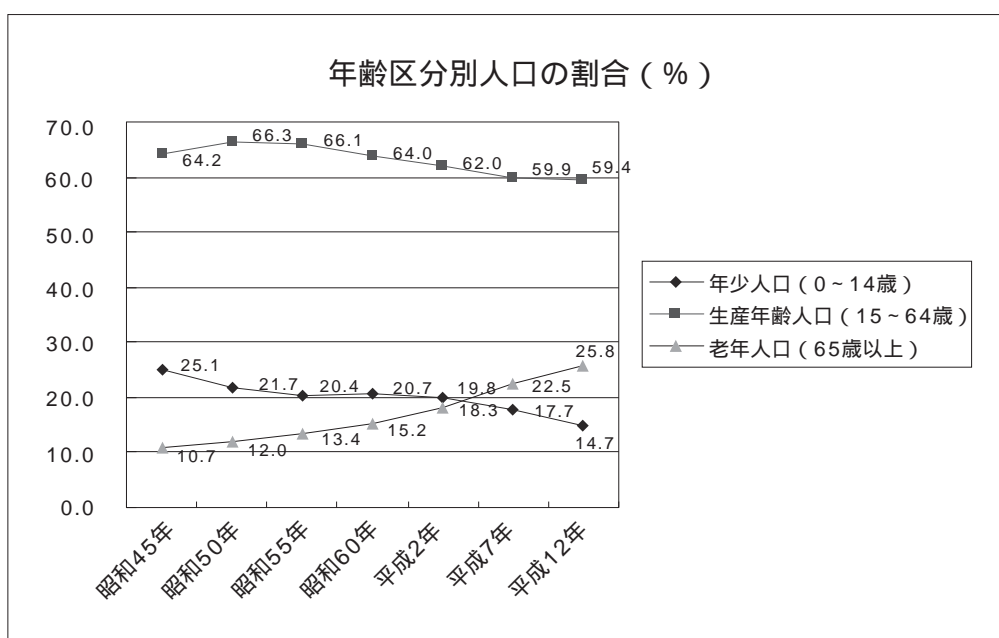
区 分	人口(人)			世帯数(世帯)		
	平成7年	平成12年	増減率(%)	平成7年	平成12年	増減率(%)
浦 富 地 区	3,879	3,840	1.0	1,092	1,125	3.0
東 地 区	993	897	9.7	274	258	5.8
田 後 地 区	985	801	18.7	275	252	8.4
網 代 地 区	1,157	901	22.1	331	275	16.9
大 岩 地 区	2,308	2,615	13.3	602	739	22.8
本 庄 地 区	1,575	1,467	6.9	382	390	2.1
小 田 地 区	1,165	1,058	9.2	300	293	2.3
岩 井 地 区	1,720	1,615	6.1	445	440	1.1
蒲 生 地 区	931	821	11.8	245	229	6.5
計	14,713	14,015	4.7	3,946	4,001	1.4

(国勢調査)

## 2 少子化・高齢化の進行

本町において高齢化（65歳以上）率は平成7年22.5%から平成12年25.8%と増加し鳥取県平均22.0%を大きく上回り、県内でも高齢化が進んでいます。

出生数は平成4年が159人であったが平成7年が103人、平成12年は97人と徐々に減少し、100人を割る状態となっています。出産適齢期女性の減少、初婚年齢の上昇、未婚率の増加が影響しています。



（国勢調査）

## 3 交流人口の減少

町の活力をみる上で交流人口の重要性が言われています。

観光の振興を図ることが商業の活性化につながり町づくりに繋がっていきます。

そうした中で、町の主な観光資源は町内4ヶ所の海水浴場、浦富海岸、岩井温泉があります。

しかし、長引く不況や、観光客のニーズの多様化、観光への付加価値を求めると、すばらしい観光資源の魅力を最大限活かしておらず年々減少傾向にあります。

（単位：人）

区分	昭和60年	平成2年	平成7年	平成10年	平成11年
浦富海岸	984,300	950,900	1,118,500	517,610	488,110
岩井温泉	88,800	118,100	109,300		

注 平成10年より入り込み数の推計方法の変更により実人員の推計に変更となった。

## 4 アンケートによる町民の声

(平成12年12月実施の町民アンケートによる。)

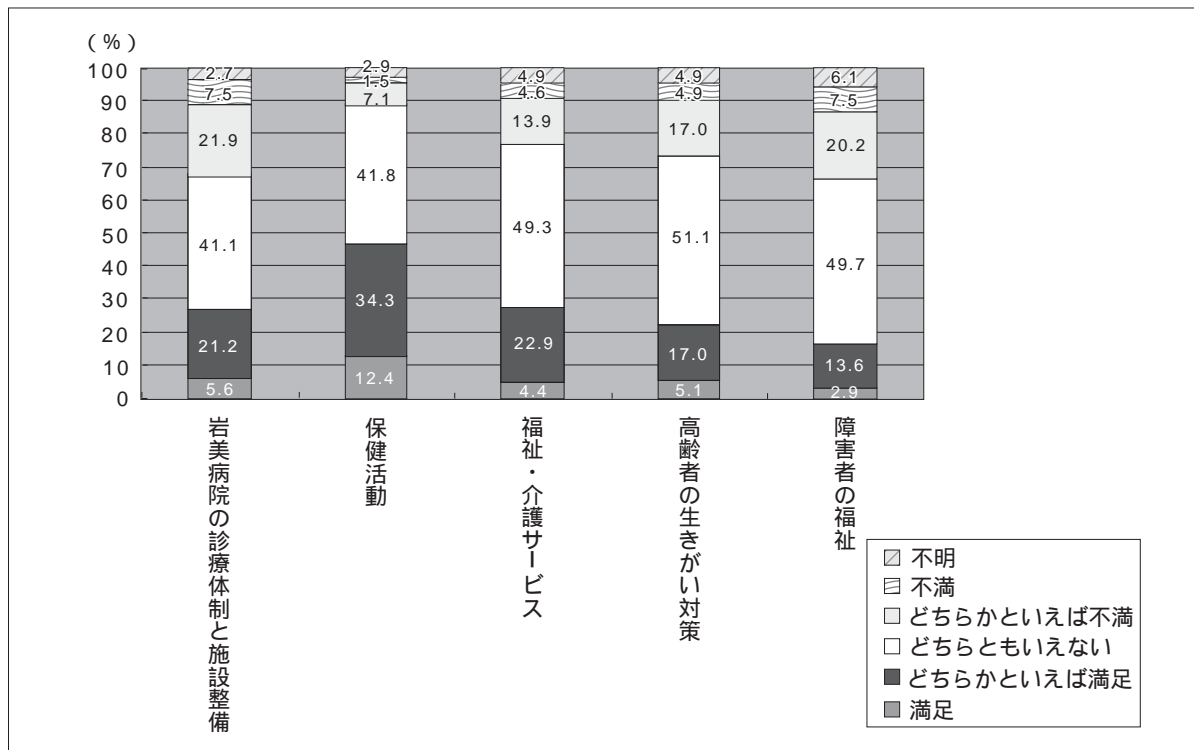
### (1) アンケートでの不満度について

#### 【医療・健康・福祉】

全体として、満足度は保健活動以外あまり高くはないが、特に不満の多い項目は「岩美病院の診療体制と施設整備」「障害者の福祉」があげられます。

「岩美病院の診療体制と施設整備」は施設の老朽化等によることが原因と思われます。

「障害者の福祉」はバリアフリー化が進んでいない等によることが原因と思われます。

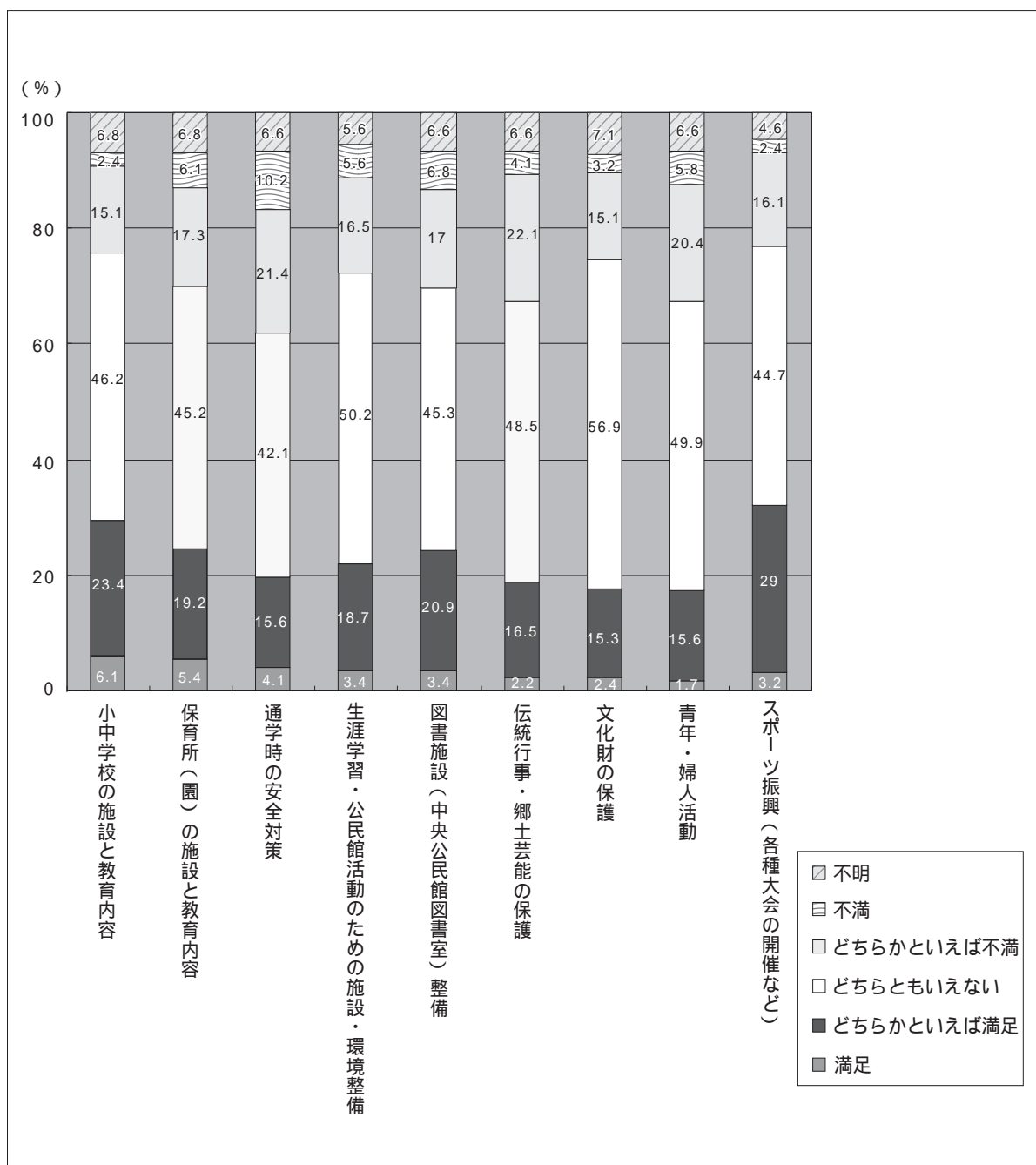


【地域の教育・文化について】

この中で、不満が多いのは、「通学時の安全対策」「伝統行事、郷土芸能の保護」などがあげられます。

「通学時の安全対策」は自動車の多い道路を通学路としていることからの不安の声が高いと考えられます。

「伝統行事、郷土芸能の保護」は伝統行事、郷土芸能は徐々に廃れていることへの不安の声が高いと考えられます。





【地域の生活環境について】

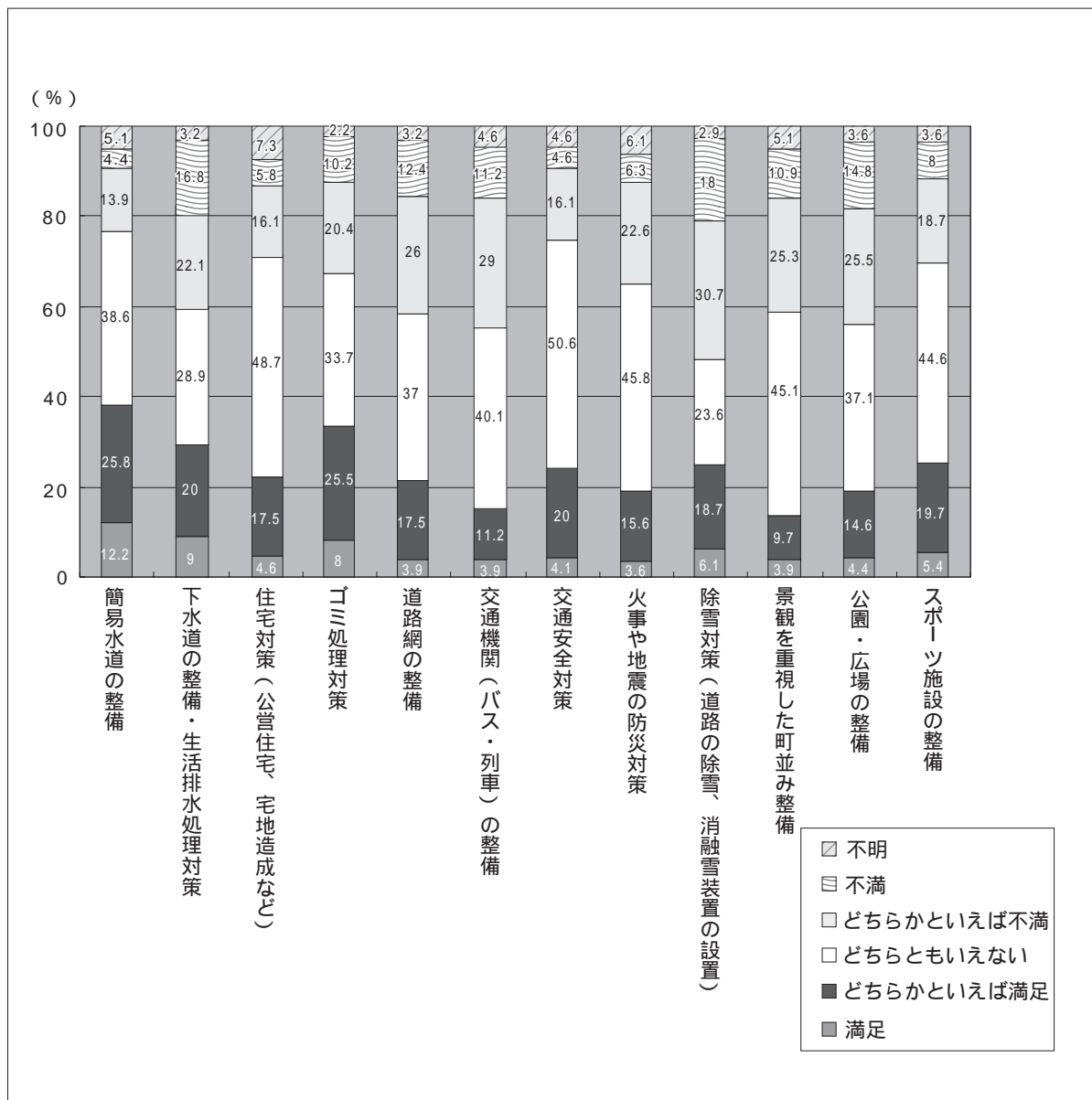
全体を通して不満が多いが、特に不満が多いのは「下水道の整備、生活排水処理対策」「除雪対策」「交通機関（バス・列車）の整備」「公園・広場の整備」などがあげられます。

「下水道の整備、生活排水処理対策」については、地区により不満の差が大きく、下水道の供用開始地区がまだ一部に限られていることから不満の声が大きいと考えられます。

「除雪対策」については、冬期時の除雪に対する不満の声が大きいと考えられます。

「交通機関（バス・列車）の整備」については、便数の少なさ、時間帯の不便さに対する不満の声が大きいと考えられます。

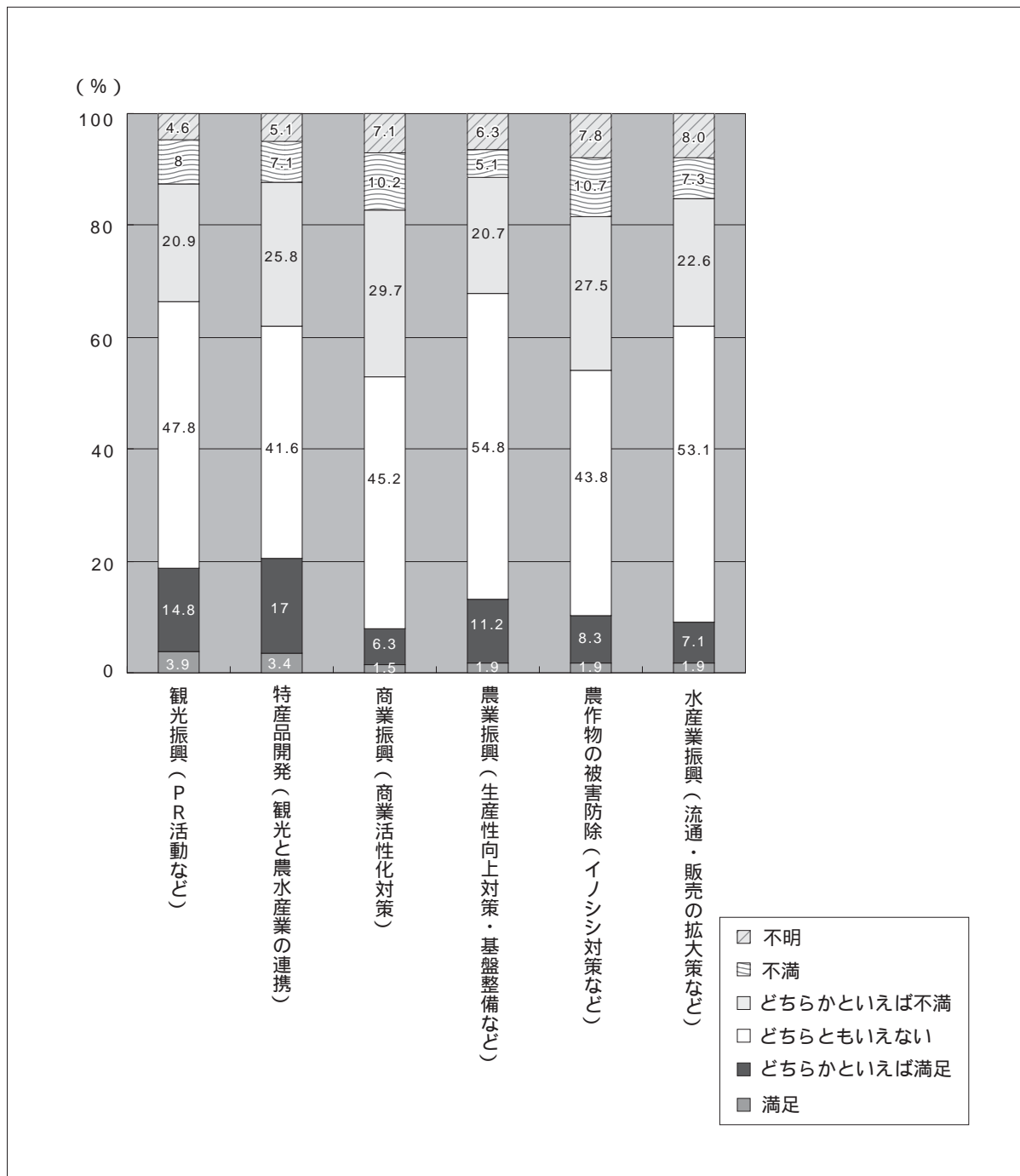
「公園・広場の整備」は子どもの遊び場としての不便さや公園内の設備の不便さに対する不満の声が大きいと考えられます。



【地域の産業について】

全体を通して不満が多いが、特に不満が多いのは「商業振興」などがあげられます。

「商業振興」については、駅前を中心とした商店街が寂れていっていることやニーズに合う商店がないなどの不便さに対する不満の声が大きいと考えられます。

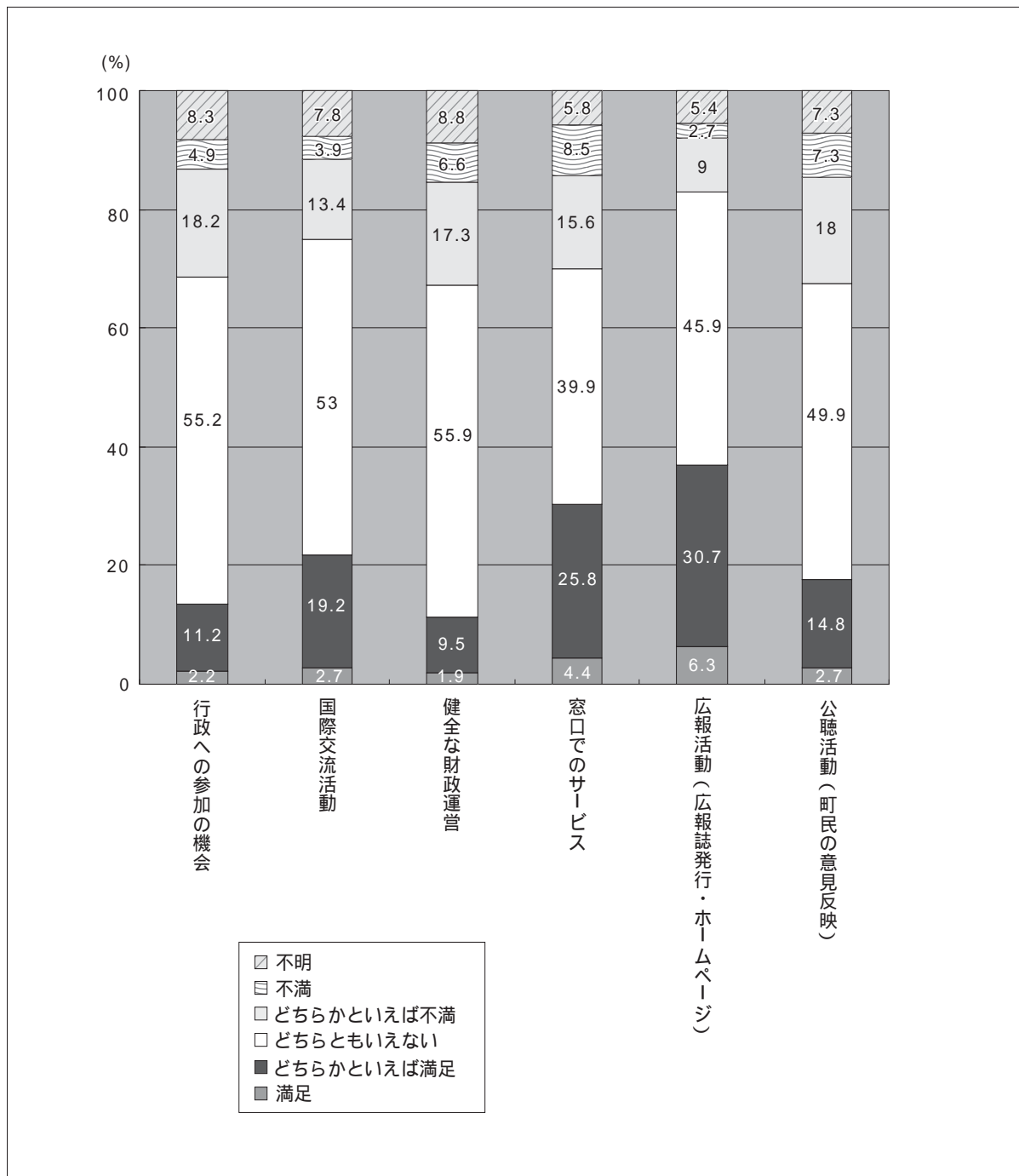


【まちづくり・行財政について】

この中で特に不満の多い項目は「行政への参加の機会」「健全な財政運営」などがあげられます。

「行政への参加の機会」については、企画立案からの参加要求の声が高いことが伺えます。

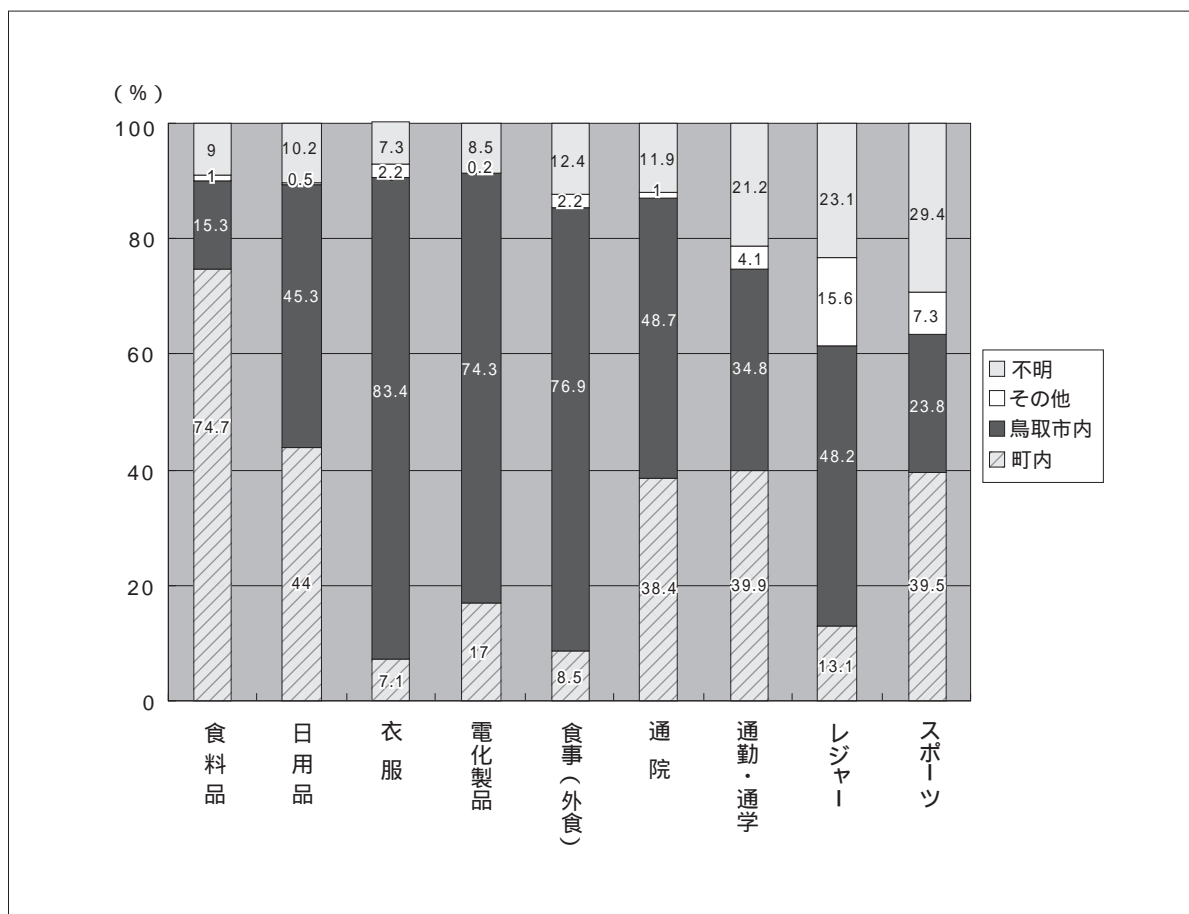
「健全な財政運営」については、一層の行政コスト削減の要求の声が高いことが伺えます。



【日常生活での活動範囲について】

食料品を除いて鳥取市内での活動範囲が多いことが伺えます。

そして、魅力ある商品、価格の提供を望んでいることも伺えます。



(2) アンケートからみた優先して取り組むべき分野

下図から

- ・ 道路交通網の整備
- ・ 職場の確保（企業誘致など）
- ・ 子どもや高齢者を対象とした福祉の充実
- ・ 保健、医療体制の整備・・・アンケートに答えた半数近くの方が鳥取市内の病院を利用しています。
- ・ 宅地開発、町営住宅の建設

などを優先して取り組むことが望まれています。

